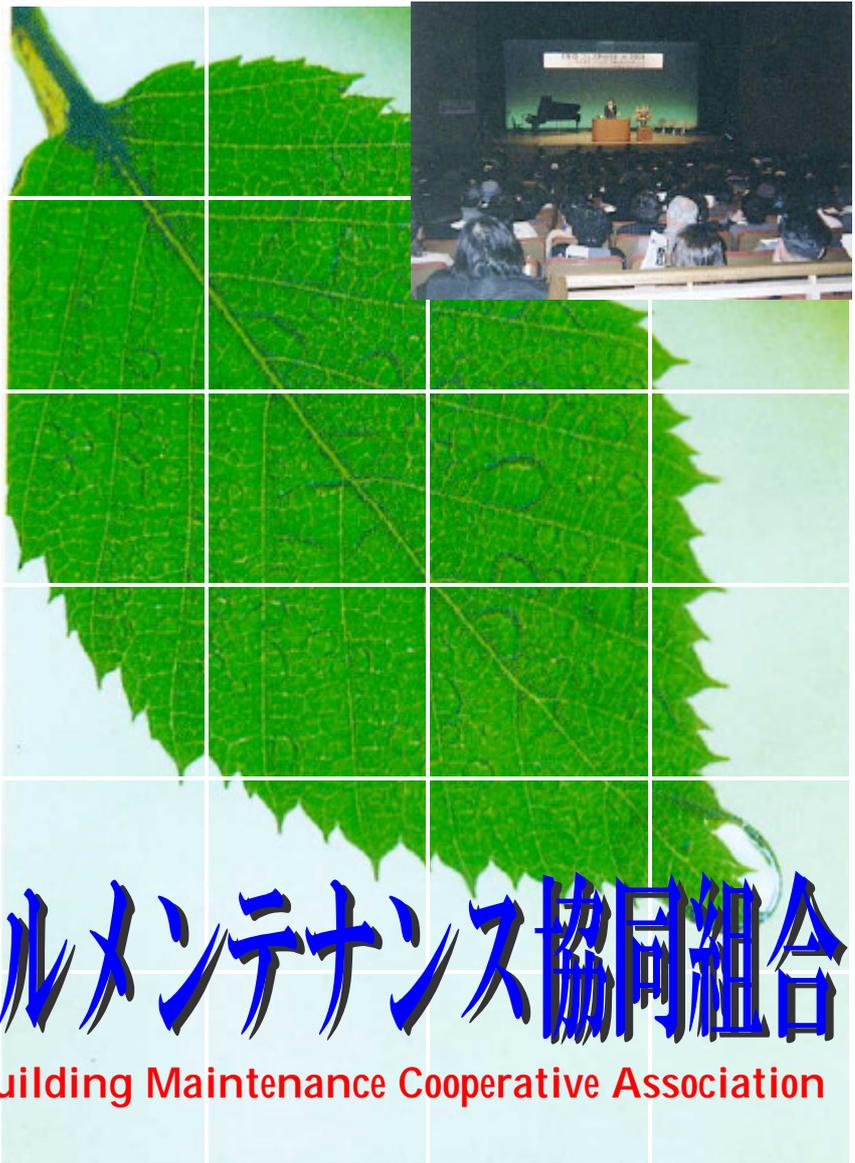
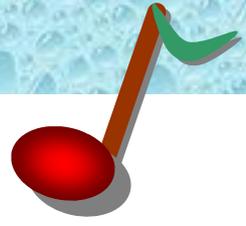


環境報告書

2004



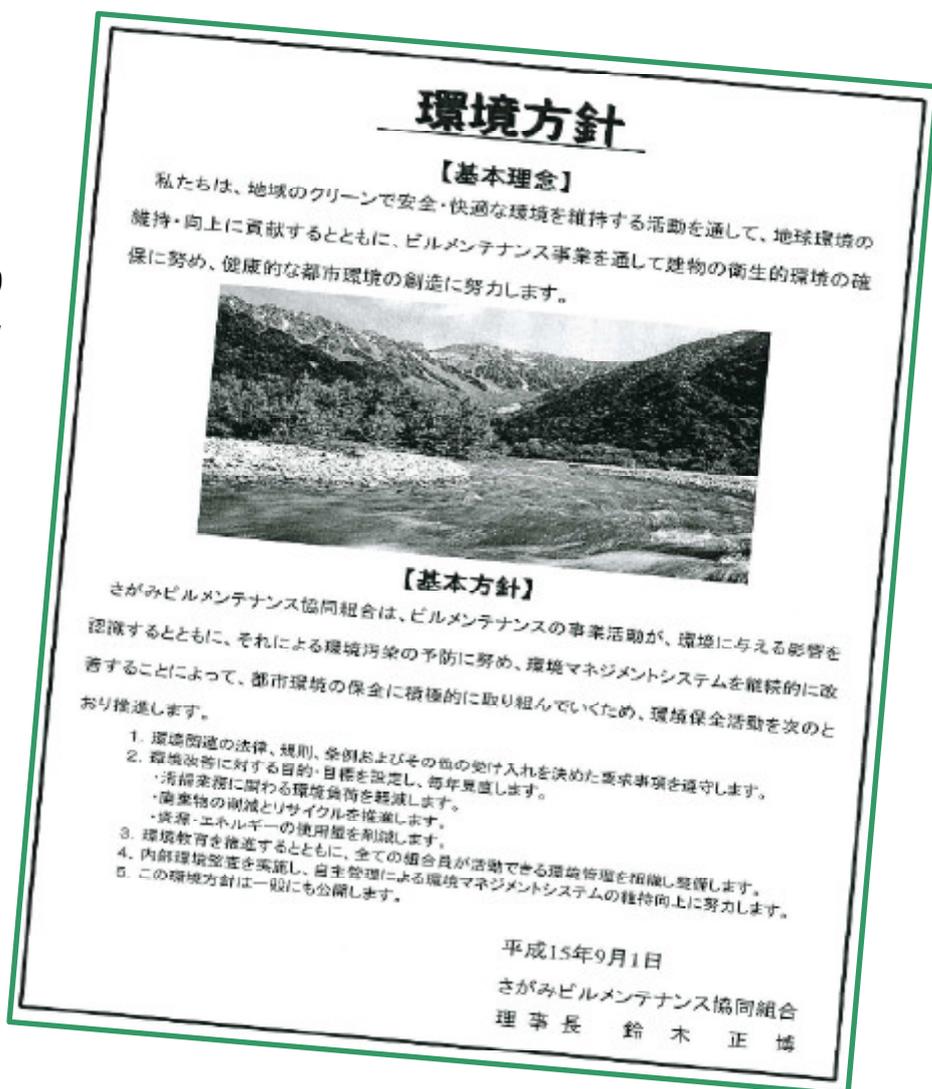
さがみビルメンテナンス協同組合

Sagami Building Maintenance Cooperative Association

さがみビルメンテナンス協同組合のISO14001とは

国の中小企業施策の変化に伴い、協同組合としての特異性を有効に活かすことが経営基盤の強化、さらに組合員の団結に繋がるものと確信し、そのひとつのツールとして、全サイト一括して『環境ISO』の取り込みを一年かけて取得しました。その結果 環境保全に対する社会的責任の明確化 環境負荷軽減への情報収集及び対処法の開発 配分業務内容の再確認と業務実態の把握等の整備をしたことによる二次的効果として、品質向上及びオーナーに対する信頼性が成果として確立された。

今後の課題としては、組合員の資質 技術の向上に資する啓蒙 指導等を通じた人材育成を強化する事により 地域社会への社会貢献に寄与できるものと考えます。



一年を通してのコメント

さがみビルメンテナンス協同組合
代表理事 鈴木 正博

平成 15 年度期、環境管理責任者、事務局を中心とした委員会活動は、ビルメン活動で発生する環境負荷の低減に、今ある知識の中での最大公約数的な概念を持ち、挑戦している事を実感しました。一部目標の未達成はあったものの環境方針、目的、目標、法的遵守等システムの規格要求事項の達成に向け、委員会並びに各作業員の環境保全の意識向上に邁進したことは高く評価できるものと自負いたします。

当マネジメントシステムを本格始動して 1年 6ヶ月、委員会主体の運用は平準化された内容に傾注しがちだが、次年度はサイト毎の特色を加味した独自の運用も視野に入れた目的・目標の見直しをして、実態に則した運用を図ることが達成度の高いシステムに繋がると考えます。なお、環境方針については、当初の方針を踏襲しビルメン業としての模範となるよう努力してまいります。

ビルメンテナンス業における環境への影響とは

私たちは、EMS を構築する以前より、ビルメンテナンス業から発生する環境問題について学習を重ねてきました。

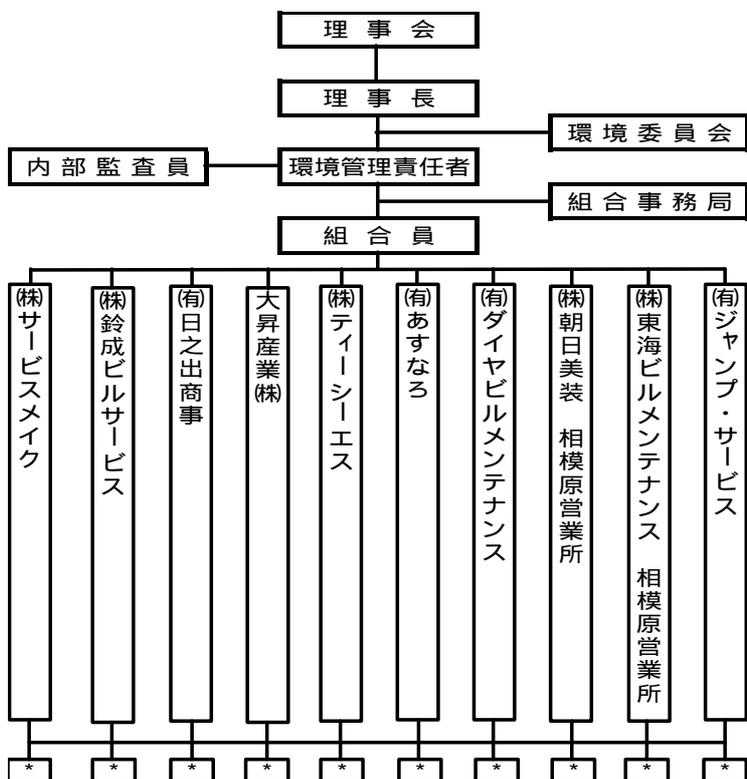
例えば、床などに使用するワックス、洗剤に関係する環境ホルモンの問題について、また洗浄・剥離作業による廃水 (Ph、BOD) の問題などを取り上げ、どのような影響が生じるか。更に、ワックス、洗剤メーカーからは、環境対応商品などの開発状況なども、研究員の方々より説明を受けました。

このような学習をベースとして、組合として清掃業務を受注した現場を中心に、環境に影響を与えている原因 (環境側面) を可能な限り抽出し、点数評価を行い最終的に環境負荷低減に取り組み対象として「13項目の著しい環境側面」を決定しました。

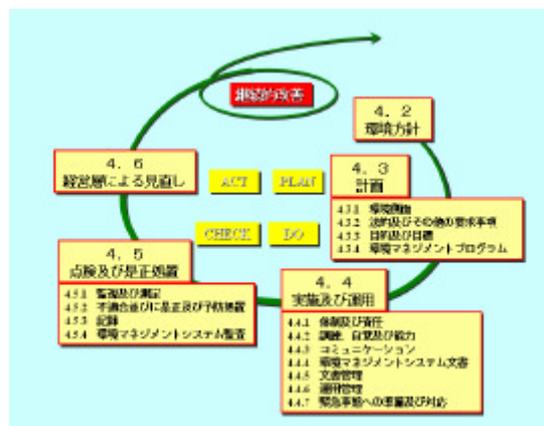
13項目の著しい環境側面												
電力の使用	廃棄物の排出	紙の排出	ガソリン・軽油の使用	排ガスの発生	水の使用	汚水の排出	薬剤 (消毒) の使用	洗剤の使用	ワックスの使用	汚泥、廃塗料、錆の排出	事務用品、トナーの使用	フロンガスの発生



環境マネジメントシステムの体制と運営



*組合が受注した現場



組合が受注し、組合員企業 10 社が取り組んだ作業現場を中心に、環境負荷低減活動に取り組みました。

組合員は毎月、管理項目をチェック。半年ごとに部門責任者から環境管理責任者に報告がなされます。内部環境監査は年 2 回。

年度末には、理事長が経営層の見直しを行います。

環境教育

EMS の構築過程ばかりでなく、認証取得後においても継続的に、私たちビルメンテナンス業において、いかに環境負荷低減に取り組むことが大切なことか、そして、目的・目標を達成するために定めたプログラムを確実に実行するため、組合役職員 組合員を対象として環境教育に力を入れています。

「最優秀作品」 分別が 私の職場の 合言葉

第 11 回 環境・品質管理フォーラムに係る「標語」入選作品

(敬称略)

環境・品質管理フォーラムの開催 & 環境の取組を浸透・啓発するため組合員社員より「標語」を募集。

[最優秀賞] : 『分別が 私の職場の 合言葉』
(株)サービスメイク

[優 秀 賞] : 『ISO 良い環境を引き継ぐための合言葉』
(有)あすなる

『残そうよ 青い地球と 青い空』
(株)鈴成ビルサービス

『受け継ごう 地球からの 宝物』
(有)日之出商事

『心がけようリサイクル、感謝しよう自然の恵み』
大昇産業(株)

『ちょっとした 心くばりが 自然保護』
(株)鈴成ビルサービス

『何事も みんなんで挑む 意識の輪』
(株)サービスメイク



環境保全に取り組む大切さを訴え、南市民ホール(相模大野)に組合員 10 社の従業員及び関係者約 350 名を集め、「ISO フェスティバル」を開催。

今回のご応募は、56名・145作品の参加をいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。

以上

さがみビルメンテナンス協同組合
環境・品質管理委員会
委員長 田 口 稔

コミュニケーション

コミュニケーションは、組合業務及び活動を通して、お客様をはじめとする利害関係者から、お寄せいただいた苦情、ご要望に対する結果です。苦情、ご要望に真摯に耳を傾け、わたしたちの改善、向上に生かしていきたいと考えています。

利害関係者からの苦情及び是正

苦情件数	苦情内容	処置対策
年間8件	点検管理 (1件) 清掃状況 (7件)	教育の徹底 業務手順の見直し 使用資材の変更

業界誌『ビルクリーニング』に ISO14001 認証取得経緯を公開 月刊誌『ビルクリーニング』2003年11月号・12月号



キックオフから約1年を経た平成15年8月、ビルメンテナンス業の協同組合としては全国で初めてISO14001を認証取得しました。

月刊誌からの要望を受け、その構築から取得までの過程、今後とも継続的に改善を続けていかなければならない課題など、2ヶ月にわたって、これからシステム構築の目指す方々の一助としていただければとの思いもあり、公開しました。



改善提案

ISO14001 認証取得後、環境保全に対する社会的責任を各作業員が意識を持って従事し、地球環境改善の一端を担っていることを一層自覚し、自ら環境改善に取り組むために実証実験を行いました。

清掃業務上の環境改善のための実証実験

テーマ選定と目的	人の健康や生態系に有害なおそれがある物質としてPRTR法の対象となっている亜鉛加工物のない環境対応製品であるワックス(メタルレス)から、各社製品の優劣を競うものでなくあくまでも組合が使用する製品選択のためのデータをとった。
実験期間	平成 15 年 8 月 ~ 平成 16 年 1 月 (6 ヶ月)
結 果	4 社の環境対応型ワックスを、同時施工し、毎週 1 回、9 ポイントの定点観測により、製品選択のための耐久性(光沢度)及び防汚性(耐ヒールマーク性)などの評価項目のデータを収集することができた。



試験施工 剥離剤塗布後の洗浄



Wax1 回塗布後の乾燥

テーマ選定と目的	トイレ清掃の洗剤使用について、使用している多くの洗剤は化学物質で生成された合成洗剤が主流となっている。 本組合では脱リン塩酸添加洗剤の採用と、使用量の削減を目標に掲げている。トイレ衛生陶器洗浄洗剤の絶対量を削減した場合、品質及び環境にどのような影響を及ぼすか、改善提案のためのデータをとった。
実験期間	平成 16 年 3 月 1 日 ~ 3 月 31 日 (1 ヶ月間)
結 果	品質、環境面から改善につながるデータを収集でき、具体的な課題について、今後の検討課題とした。

環境社会活動

不法投棄防止キャンペーン参加協力

平成 15 年 11 月 8 日 (土)

相模原麻溝公園周辺地区の不法投棄物の撤去及び道路清掃に参加協力しました。



インターシップ受入れ

平成 15 年 11 月 20 日 (休)

相模原市内中学校より職業体験・学習のご依頼を受け、3名の生徒さんを受け入れ、相模原麻溝公園内の点検清掃業務通じて、体験学習に協力させていただきました。

内容 大人と生徒が共に働くことにより働く厳しさを学習する。(但し、危険な仕事は避ける)

- 【午前】 アスレチックにおいて遊具等の点検管理並びに場内のごみ拾い・掃き (大人主体)
園内トイレをはじめとして、諸施設の点検清掃
- 【午後】 アスレチックにおいて遊具等の点検管理及び指導並びに場内のごみ拾い・掃き (生徒主体)

空缶回収キャンペーン参加協力

平成 16 年 4 月 3 日 (土) ~ 4 日 (日)

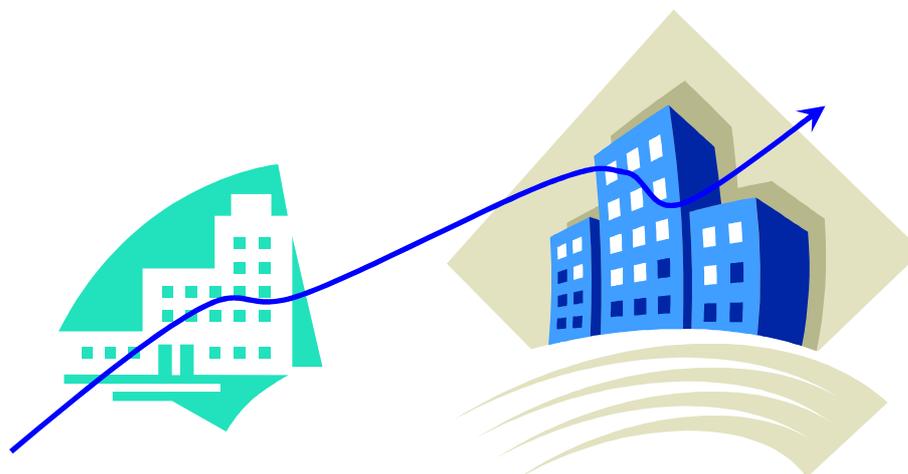
第 31 回相模原市民桜まつりにおいて組合ブース設営により空缶回収キャンペーン実施。



平成15年度 目的・目標の達成状況

ビルメンテナンス業務の中から具体的な目的・目標を設定し、1年間環境活動を継続的に実施した改善結果です。

著しい環境側面	目的	実施部門	H15年度目標 H15.8~H16.7	参考値 (H15年度実績)達成度
1 水の使用	水の使用量削減	全組合員	ムダ使用抑制	90
2 廃棄物の発生	廃棄物の発生抑制、再利用促進適正処理	全組合員	分別の徹底	97
3 ガソリン、軽油の使用	省エネ運転の励行	全組合員	省エネ運転の徹底	95
4 排ガスの発生	排ガス発生抑制	全組合員	省エネ運転の徹底	92
5 電力の使用	省エネ活動の推進	全組合員及び事務局	省エネ活動の徹底	93
6 事務用品/トナーの使用	エコ商品の購入	事務局	事務用品・トナー購入費 14年度比3%削減 グリーン購入の実践	4.90% 70
7 紙の使用	紙の適正使用	事務局	用紙購入量 14年度比3%削減	コピー 46,400枚 30
8 薬剤の使用	可能な範囲で使用の抑制 環境負荷のかからない薬剤への切り替え	全組合員 (一部組合員除く)	ムダ使用抑制 改善案検討	107? 78
9 洗剤の使用	可能な範囲で使用の抑制 環境負荷のかからない洗剤への切り替え		ムダ使用抑制 改善案検討	日常、定期 合計 890? 77
10 ワックスの使用	可能な範囲で使用の抑制 環境負荷のかからないワックスへの切り替え		ムダ使用抑制 改善案検討	1,029? 86
11 汚水の排出	可能な範囲で排出の抑制	全組合員	改善案検討	10,440? 88
12 汚泥、廃塗料、錆の発生	汚泥、廃塗料、錆の適正処理	1組合員	法令の遵守	502kg 90
13 フロンガスの発生	発生の抑制	1組合員	0	実績なし



環境監査

内部環境監査と外部審査登録機関による厳正な審査 監査を受審し、指摘事項に対する対応により環境マネジメントシステムの継続的改善を図っています。

外部審査登録機関による審査

外部審査機関	SGSジャパン株式会社					
監査期間	平成 15 年 7 月 1 日 ~ 7 月 4 日					
被監査部署	全組合員、組合事務所及び組合受契現場の 4 社					
審査員	1 名					
監査結果概要	<p>環境側面、環境教育 訓練、文書管理、記録、監視及び測定箇所各 1 件、環境マネジメント監査で 2 件の不適合を指摘されました。</p> <p>一部特定の漏れ、管理不十分な点などが不適合内容として指摘されましたが、全て、是正対応を行い、是正処置が全て容認されました。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">不適合</td> <td style="text-align: center;">一般観察事項及び改善の機会</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7 件</td> <td style="text-align: center;">8 件</td> </tr> </table>		不適合	一般観察事項及び改善の機会	7 件	8 件
不適合	一般観察事項及び改善の機会					
7 件	8 件					

(第 1 回)

内部環境監査

監査期間	平成 15 年 9 月 18 日 ~ 10 月 20 日													
被監査部署	組合受契 7 現場の 8 社													
内部監査員	7 名													
監査結果概要	<p>組合で作成したチェックリストにもとづき、内部監査を実施したので各現場項目的には共通して広い範囲のチェックが出来た。</p> <p>しかし、過去に他部門で指摘を受けた同じ内容の不適合が多い。</p> <p>現場作業員に対してもヒアリングする等工夫が必要と思われる。</p> <p>監査員により 監査のレベル差 (見方の差) があることは委員会で話題となったが、監査の深さに問題を残すこととなった。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">不適合件数</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重 大</td> <td style="text-align: center;">軽 微</td> <td style="text-align: center;">観 察</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1 件</td> <td style="text-align: center;">20 件</td> <td style="text-align: center;">17 件</td> <td style="text-align: center;">38 件</td> </tr> </table>			不適合件数			合 計	重 大	軽 微	観 察	1 件	20 件	17 件	38 件
不適合件数			合 計											
重 大	軽 微	観 察												
1 件	20 件	17 件	38 件											

(第 2 回)

監査期間	平成 16 年 2 月 17 日 ~ 4 月 22 日													
被監査部署	組合受契 5 現場の 8 社													
内部監査員	9 名													
監査結果概要	<p>是正処置要求の件数は前回より 1/3 と大幅に減少している。</p> <p>監査の狙いを定期清掃としたが、浸透が十分でなかった。</p> <p>監査員のレベル差が出てきているように思える。</p> <p>理事長を監査員としての環境委員会に対する指摘事項は 8 件あり、今後の方向が示された。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">不適合件数</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重 大</td> <td style="text-align: center;">軽 微</td> <td style="text-align: center;">観 察</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">3 件</td> <td style="text-align: center;">18 件</td> <td style="text-align: center;">21 件</td> </tr> </table>			不適合件数			合 計	重 大	軽 微	観 察	0 件	3 件	18 件	21 件
不適合件数			合 計											
重 大	軽 微	観 察												
0 件	3 件	18 件	21 件											